

2019年度総会の報告

三嶋秀恒（松戸市）

開催日：2019年2月11日（月・祝）

場 所：千葉市生涯学習センター 大研修室、総会出席者：61名、委任状数112名
特別講演（司会・講師紹介：佐野由輝） 13：00～14：25

「大地の5億年 せめぎあう土と生き物」

講師：（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 主任研究員 藤井一至 氏
総会（司会・進行：木下順次） 14：40～16：00

議長：高木純一（習志野市）、書記：西河内ひとみ（船橋市）・及川朋（千葉市）

議題：2018年度事業実績・会計報告・監査報告、2019年度事業計画・予算（案）

*特別企画：「生涯学習センター特別会議室」 9：45～11：30

担当：SSNスタッフ、参加者数：30名

*懇親会：千葉公園内ボートハウスレストラン 16：30～18：20

担当 盛一昭代・三嶋秀恒 参加者数：32名

総会：会間代表からの挨拶の後、高木純一さんが議長、西河内ひとみさん・及川朋さんが書記に選出され、議事進行しました。行事報告は会間代表から詳細な発表があり、会計報告は浦部さん、会計監査報告は藤田さんからの報告があり、承認されました。昭和の森観察会・東葛しぜん観察会・大草谷津田いきものの里自然観察会・研修会・SSN・受託事業等々の行事案及び予算の提案で、夫々の担当役員から熱のこもった説明があり、承認されました。

特別講演：テーマ「大地の5億年 せめぎあう土と生き物」

子どもの頃から土に憧れ、土の研究者になった講師。国内各地、インドネシア・タイの熱帯雨林からカナダの永久凍土まで、面白い土と生き物を求めて、スコップ片手に飛び回っている。土は植物や昆虫の躍進、恐竜の消長、人類の繁栄に場所を貸すだけでなく、生きものたちと相互に影響をし合いながら、5億年を通して変動してきた。4億年前のCO₂は現在の10倍以上の高濃度で3°Cも暖かく、3億年前には7°Cも寒冷化、肥沃な土は、森林や草原の下で数千年から数万年かけて少しずつ作り上げてきたもの。1)土とは何だろう？ 2)どうやって地球に土ができたのか？ 3)ヒトと土の700万年のテーマで話しを進め、昔は地球には土がなかった。人類進化の原人が直立二足歩行を始め、ヒトは土とかかわってきた。100億人を養う土壤について、世界の土は12種類に分類でき、本当に良い土はどこにあるかとのお話など、我々人類がどれだけ土から恩恵を受けているか考えさせられました。

特別企画（自然観察会）：テーマ「SSN流の自然観察」 於：センターの特別会議室

降雪のため急遽 特別会議室で開催、普段小学校などで活動している様子を3グループで再現、参加者には子ども役になっていただきました。①横戸小学校チームは3年生で実施している「学校林の生態系ピラミッドを作ろう」。学校林で捕まえた虫（当日は絵）を入れたカップを分類し、生態系のどの位置にくるかを参加者全員で考えて大きなピラミッドの上に置いていく、それを見ながら植物と生き物や生き物同士の関わりを考えました。②東葛チームは4年生を対象とした活動から鳥を取り上げました。鳥の渡りについてとスズメクイズの出題があり、観察のポイントや関心を高める工夫を学びました。③四街道チームは保育所で行っている「葉っぱ合わせレース」や2年生で実施している葉っぱなどの自然物を貼った王冠作りを楽しく体験しました。暖かな室内で自然遊びを取り入れた参加型の和やかなSSN流の自然観察会でした。

懇親会：千葉公園のカフェに移り、盛一さんの司会進行で、美味しい料理と飲み物で歓談して親睦を深めました。午前中で雪が上がり、寒かったけれど楽しい雰囲気で交流しました。